

うちの「おやっさん」

統計課・人口労働グループ

萩 津 美智子



私の家には元気な年寄りがいる。

ある日曜日、その娘、いわゆる私のおばに当たるわけであるが、そこへ行きたいと突然言い出した。私にとってはたまの日曜日、午前中ぐらいいはゆっくりと寝たいのである。それなのに、私の部屋のドアをおもいきり平手打ちとくる。当然ノックぐらいでは起きないという孫のことを知り尽くした上での行動なのかもしれないが、私にとってはたいへん頭にくるわけである。寝ながらの「わかったからドアをたたかないでよ」なんて言葉は通用しない。まんまと彼女は、私を起こすことに成功する。ぶちぶちという私の文句は、彼女に言わせると、耳が遠くなったせいか全然聞こえないそうである。そして彼女は、いばった態度で私に荷物を持たせ、自分はもう助手席にちゃっかり座っている。前に、乗るとき端に足を乗せると土が落ちるからやめてねと言ってあるのに、あとのまつりである。文句を言うと、「なにね」と冷たく言う。もう一度大きな声で言うと、そんな大きな声で言わなくても聞こえるというし、普通に言うと無反応ときている。無反応とはいっても、本当に聞こえていないものかどうか疑わしい。彼女は、自分の都合の悪い話になると全然聞こえなくなってしまうのである。

車に乗ったら乗ったで、信号待ちの車の後に止まろうとするときや、カーブを曲がろうとするときなど、あぶないあぶないの連発である。前のボードにしっかりとつかまっている姿は、自慢ではないが先月初心者マークのとれたベテラン?にむかってたいへん失礼なのである。

さて、その家に着いてみると、おばは留守であった。すると彼女は、その娘の娘、いわゆる私のいとこに当たるわけであるが、それにお茶を出させ、こたつにどっしりと腰を据えてしまった。運悪く、テレビでは彼女の大好きなプロレスが放映されており、彼女はおばの帰りを待つ様子である。

プロレスを夢中で見る彼女を見ていると、プロレスを見るよりずっとおもしろいと思われる。まるで、彼女自身がプロレスラーにでもなったかのようである。彼女は、すっかり周囲を忘れてなりきってしまう性格なのである。まったくしわだらけの元気なプロレスラーである。

30分ぐらい過ぎただろうか。おばが帰ってきた。しばらく話してから、私は用事があるので帰るといい、彼女も一緒に帰るといい。実は、彼女は泊まりたいのだが、明日の昼に老人会の行事があり、帰らねばならぬというのである。「足があれば……」の彼女の一言で、彼女の希望はすぐみんなに理解され、かなうこととなる。いとこが、朝送ってくれることとなった。「それじゃ帰るね」という私に、すまし顔で「どうもごくろうさんでございました」まったくわがままな年寄りである。

なにを隠そう、私はおばあちゃん子である。性格をそのまま受け継いだ感がある。私の将来の姿なのだろうか。長生きしてもらいたいと思う今日この頃である。

彼女、当年として74歳、趣味—プロレス鑑賞、職業—農業(家で食べる分の野菜を少々)、長所—元気、短所—耳が遠い(ふりをする)、以上、これがうちの「おやっさん」である。

【新着資料案内】

この資料は、昭和61年1月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。
行政資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		都道府県関係	
昭和60年国勢調査 要計表による特定地域別人口(特別集計) 全国都道府県市区町村別人口(要計表による)	総務庁	群馬県の工業 昭和59年工業統計調査結果	群馬県統計課
昭和60年版青少年白書 —青少年問題の現状と対策—	"	昭和60年県勢グラフ	"
昭和60年版科学技術白書 —研究開発の新展開と連携の時代—	科学技術庁	埼玉県市町村勢概要	埼玉県統計課
昭和59年度国債統計年報	大蔵省	昭和59年度県民経済計算早期推計結果	"
昭和59年食肉流通統計	農林水産省	昭和60年学校基本調査報告	東京都人口統計課
茨城県農林水産統計年報 昭和59年~60年	関東農政局 茨城統計情報事務所	昭和59年長野県の工業 工業統計調査結果報告書	長野県情報統計課
商業動態統計総覧	通商産業省	昭和59年京都府の工業 昭和58年度県民所得推計報告書	京都府統計課
昭和59年度郵政統計年報 保険年金編	郵政省	昭和59年広島県の工業 (工業統計調査結果報告)	広島県情報統計課
昭和59年報郵政統計年報	"	香川県の工業 —昭和59年工業統計調査結果報告—	香川県統計調査課
昭和59年地方公務員給与の実態	自治省	公社・会社・団体等関係	
茨城県関係		茨城県会社要覧 昭和61年版	栃常陽産業開発センター
茨城の工業団地	地域計画課	昭和60年度茨城県における中小企業 の労働事情	茨城県中小企業団体中央会
昭和60年茨城県内水面水産試験場 調査研究報告 第22号	内水面水産試験場	昭和60年版公共施設状況調 昭和59年度基金年報	栃地方財務協会 社会保険診療報酬 支払基金 茨城県人会連合会
県内市町村関係		会員名簿 昭和60年12月現在	
常陸太田市市民福祉総合計画	常陸太田市		

賛助会員募集のお知らせ

茨城県統計協会では、統計情報の活用を図るため、事業の一環として賛助
会員制度を設け、会員の皆様に各種統計刊行物を作成の都度配布しています。

法人、個人を問わずどなたでも加入できる会員制度です。

会員になられると次の刊行物を無償配布します。

▶ 会費(年会費)

A 会員 23,000円

B 会員 10,000円

申込み等詳細については、茨城県統計協会(茨城県
企画部統計課内)へ直接お問い合わせ下さい。

(電話) 代表 0292-21-8111 (内線) 2651

直通 0292-21-5505

▶ 配布予定刊行物

刊行図書名	刊行区分	配布区分
茨城県統計年鑑	年刊	A 会員
県民所得	"	"
賃金、労働時間及び雇用の動き	"	"
茨城の工業	"	"
茨城県消費者物価指数	"	"
鉱工業指数	"	"
都道府県勢の展望	"	"
茨城県勢要覧	"	A, B 会員
茨城県のすがた	"	"
統計いばらき	月刊	"
茨城県の人口と世帯	"	"
茨城県消費者物価指数	"	"

経 済 動 向

国内の動き

● 景気は「調整局面」

景気は今後後退するか、再び上昇するかの分かれ目の「調整局面」に入ってきた。経済企画庁が発表した昨年11月の景気動向指数によると、景気変化の方向を示すD Iの一致指数は18.2%で4ヵ月続けて景気の明暗を分ける50%ラインを割った。先行きを占う先行指数は41.7%で昨年5月以来6ヵ月ぶりの50%割れ。企画庁は「景気の足どりが鈍っているのはまちがいないが、先行き反転上昇する可能性もある

るので関連指標をさらにみる必要がある」と説明している。景気の足どりを示す遅行指数は33.3%で、昨年7月以来5ヵ月続けて50%を下回っている。一方、景気の勢いを示すC Iをみると、先行指数は前月比0.4%低下して111.5、一致指数は同0.8%低下の105.0、遅行指数は0.2%上昇の103.1となっている。(日経 1月29日付)

● 住宅着工5年ぶり120万戸超す

建設省が発表した60年1年間の新設住宅着工戸数は123万6072戸となり、前年に比べ4.1%増えた。120万戸台は55年以来5年ぶりの高水準。持ち家建設の勢いは弱いですが、貸家が好調なため、建設省は61年度について「住宅減税などの効果もあるので125万戸を超える」と予想している。また木造の比率が27年の調査開始以来初めて5割を割り込むな

ど構造的な変化が目立ってきた。住宅着工床面積は1億0312万9000平方メートルで前年比2.9%増。ただ、戸数に比べて伸び率が小さく、1戸当たりの平均床面積は83.4平方メートルと51年以来の小規模にとどまった。住宅建設のけん引役は当初から貸す目的で建てる貸家。戸数は52万7042戸で前年比13.5%増。(日経 2月1日付)

県内の動き

■ 経 済

● 輸出鈍化で生産減少

大蔵省関東財務局水戸財務事務所はこのほど、最近の県内経済情勢についてまとめた。概況によると、個人消費や民間設備投資は総じて順調に推移しているものの、生産面で輸出の鈍化などから減少し、国内経済全体の動きに比べ、やや鈍化傾向にある。工業生産では、電気機械工業が、VTR、カラーテレビ等で減少して、一般機械工業が、事務用機械で高水準で推移している。個人消費・住宅建設では、大型小売店売上高は新規出店が相次いで、全体では前年を大幅に上回ったが、既存店では前年割れとなる店もあるな

ど、店舗間、地域間の競争は一層激化。新車販売台数は新型車投入効果を背景に順調な伸び、観光・レジャー面では、万博の効果や常磐自動車道の首都圏直結などで前年を上回っている。新設住宅着工戸数は、昨年7月以降4ヶ月前年を下回ったが、11月は貸家が大幅な増加を示した。設備投資では、能力増強投資から、合理化、省力化投資に移行しつつある。有効求人倍率は、昨年8月以降、前年水準を下回っている。(いはらき 2月11日付)

■ 産 業

● 工場立地好調な伸び

茨城県地域計画課は、昨年1年間の工場立地動向をまとめた。それによると、立地件数と分譲面積は、ともに第1次石油ショック後の50年以降では最高を記録した。科学万博会場地で名を売った筑波西部工業団地と、隣接の同北部工業団地の売れ行き好調に支えられたのが大きな要因。しかし、円高不況の急速な広がりも心配される。同課のまとめによると、昨年1年間の企業立地は115件(前年比24件増)で分譲面積は250.5ヘクタール(同132.6ヘクタール増)。こ

れは立地件数で最高を記録した59年の99件、面積では55年の177ヘクタールをともに上回る記録。一件当たりの平均取得面積も2.2ヘクタールと昨年の平均を0.9ヘクタール近くも上回った。売れ行き好調の背景には、科学万博のイメージアップ、常磐自動車道の都心直結と供用距離の延伸で交通の便が良くなったためなど考えられる。(いはらき 2月15日付)

■ その 他

● 運転免許人口130万人を突破

県内の運転免許人口が昨年暮れに130万人を突破、県民2人にほぼ1人の割合で免許を所持している形となった。県警運転免許課のまとめによると、昨年12月末の免許人口は130万0195人。前年に比べ約4万6000人の増加だが、53年以来続いていた5万人台の増加状況を下回った。男性の免

許人口は約82万4000人、女性が約47万6000人。男性は1.65人に1人、女性は2.88人に1人の割合で免許を所持。対前年増加率は男性が2.4%、女性が6.1%と女性の増加が目立つ。全国的には、本県は免許人口で11位だが、人口比率では最も高い。(いはらき 2月10日付)